

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山
愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内
電話：0567-55-9993

君の名は。

11月5日（土）・6日（日）、愛西市文化会館と佐織公民館で“愛西市文化祭”が開催されます。特に今回は、ユネスコ世界無形文化遺産の候補となっている“尾張津島天王祭”の市江車を題材にした作品展示が予定されています。さらに6日には“商工まつり”も開催されます。

さて、巷では『君の名は。』というアニメ映画が大ヒットして、そのアニメのモデルとなった岐阜県飛騨市などが聖地となってファンで賑わっているようです。『君の名は』と聞いて、「真知子巻きで一世を風靡した男女の行き違い恋愛ドラマ？」と、1954（昭和29）年にヒットした映画のリメイクと思った人も多いようですが、まったく異なる、現代的奇想天外なストーリーで展開する恋愛ファンタジーです。特に、背景に空と雲がリアルに描かれている美しいアニメである点がヒットした要因の一つのようです。

ここで、飛騨市が聖地巡礼地となった成功話を考えてみると、巡礼地となった場所は住んでいる人にとっては日常、ありふれた風景です。しかし、作品がファンタジーであり、アニメであったために、空想の夢物語に登場する場所へ行ってみたいという人が多くて聖地化したとも言えます。つまり、映画が実写劇だったら、平凡なストーリーだったら、これほどのブームにはならなかったでしょう（10年前はそれだけでロケ地観光地化したでしょうが…）。

先日、愛西市文化祭に出品する画家の方から市内でスケッチする良い場所は無い
か、アマチュアカメラマンの方から良い写真
を撮影できる風景が無い
か、と聞かれました。

一般的に、自然豊かな木曾川、船頭平開門、あるいは旧佐屋川堤防跡などの風景がおススメですが、上記のような作品を作るなら素材はどこにもあります。例えば、高校生の利用が多い名鉄尾西線の町方駅は、県道が駅をまたぎ、現代と昭和がせめぎ合う面白い風景です。

< 2 頁に続く >



君の名は。

<表紙より>また、名鉄五ノ三駅や JR 永和駅は、水田に囲まれ列車本数も少ない“ふるさと駅”のイメージがあります。残念ながら五ノ三駅自体は弥富市域内にありますが、調べてみると、五ノ三駅（前頁写真）は愛知県最西端の駅で到達記念に訪れる人もいます。JR 永和駅も『君の名は。』に出てきそうな風景で、絵画や写真の題材になり得るのではないのでしょうか？また、立田八開や永和地区の氏神様も、この季節は黄金の波に浮かぶ緑の島のように。愛西市の写真コンテストの題材にいかがでしょう。

近隣市町村との観光交流

9月30日（金）、木曾川下流河川事務所が主催して弥富市総合社会教育センターに於いて、岐阜県海津市、三重県桑名市、愛知県弥富市と愛西市の各ボランティアガイドの会のメンバー約70人が集まり、内、あいさいボランティアガイドの会からも13人が参加して「木曾川下流地区広域観光連携協議会」が開催されました。

午前10時から服部弥富市長の挨拶、記念写真撮影会があり、生産品種量・取引量で日本一を誇る弥富の金魚について弥富金魚漁業組合の方から大変興味深い講話がありました。昼食後、弥富ふるさとボランティアガイドさんが案内されて、金魚の競り市場、筏川沿いにある施設に関する視察会があり、ボランティアガイド会の相互交流を深めることができました。特に金魚の競り市見学はほとんどの人が初体験でとても勉強になりました。

10月1日（土）には、津島市が主催した「愛知県観光交流サミット」があり、それに伴うさまざまな催事が津島市文化会館を主会場に開催され、“つしまアートスケープ”などの関連行事が市内で開催されていました。

午前10時から、あいち観光ボランティアガイドの会が主催した「活動事例発表・経験交流会」があり、また、同時開催で、津島市が主催する津島ガイドボランティアの会が案内する「市内周遊ツアー」もありました。あいさいボランティアガイドの会では、同時開催された2つの催事の両方へ会員個別の興味で参加しました。

午後1時30分からは、「愛知県観光交流サミット in つしま」と銘打ったシンポジウムが開催され、さらに、午後5時45分からは「交流会」として、西尾・犬山市など県内ご当地名産品が出店されました。愛西市観光協会でも“れんこんチップス”などを出店して来られた方々に楽しんでいただきました。翌2日（日）には、勝幡駅から津島駅までのコースで名鉄ウォーキングが開催され、約3000人の参加者があり、愛西市内では根高町の釜地藏が特別開帳されました。なお、10月1日・2日両日は津島の秋祭でもあり、ウォーキング参加者も楽しんでいました。



なお、これら交流会を機に、あいさいボランティアガイドの会のユニフォーム製作が間に合いました（左写真）。今後、愛西市の観光施設、あるいは、イベントなどで、背中に“AISAI”の文字と“あいさいさん”の絵が描かれた黄色いベストを着て、皆さんをご案内しますので、見かけたら気楽にお声かけ下さい。

秋晴に恵まれた秋まつり

今年の初秋は、幾つもの強烈な台風が九州や北海道を襲い、農産物などにも大きな被害が出ました。当地方でも長雨が続く、米などの作柄が心配されています。しかし、10月の週末は天候に恵まれて愛西市の各地で秋祭りが開催されました。

この内、10月9日（日）は午後から秋晴に恵まれ、須依町や西保町などで神楽や石取車が賑やかに町を練り歩き、氏神で神事が開催されました。特に西保町の星大明社では、午後2時からの神事後、当地方では珍しい伊勢大神楽の獅子舞が奉納され、コミカルな舞いが神前で演じられていました。



南知多町 野菜パイヤ祭り

10月12日（水）、愛西市観光協会は、県内の先進観光地の一つである南知多町の観光地を南知多町観光協会の案内でミカン狩り農場などを視察しました。自然豊かな伊勢湾と三河湾に囲まれ、温暖でゆるやかな地形が広がる南知多町は、農産物や水産物、その加工品が観光資源として豊富にあり、水産物加工直売所や観光農園がたくさんあります、今年から野菜パイヤ祭りという企画の店もあるそうです。愛西市でもこんな施設が増えることを期待します。

また、南知多町には片名（かたな）という漁港があります。これまでも、刀（かたな）と鞘（さや）との関係から、佐屋（さや）町と商工会交流があり、愛西市の商工まつりで新鮮な魚介類を販売されていましたが、今回表敬訪問をしてさらなる友好を深めました。

蓮の花托（蓮台）手芸教室

10月10日（祝）愛西市観光協会にて、蓮の花托（蓮台）を材料にした手芸教室が開催され、26名の方に参加いただきました。蓮台を甲羅に見立て穴に綿を詰めて鮮やかに彩った亀と、蓮台回りを飾り付けた花の2点を作成しました。参加された方々はそれぞれ工夫を凝らされ、オリジナリティあふれる作品ができあがり、皆さんとても満足された様子でした。今回作成された作品の一部は、11月5日（土）・6日（日）に開催される愛西市文化祭で展示予定です。



～ 観光協会が関連する 今後の予定 ～

- 11月 3日(祝) 木曾川下流域合同観光物産展(於:名古屋市金山総合駅)
11月 5日(土)・6日(日) 愛西市文化祭(於:文化会館、佐織公民館)
11月 5日(土) 愛西市国民文化祭(於:佐織公民館)
11月 6日(日) 愛西市商工まつり(於:文化会館、佐織商工会)
11月13日(日) ねんぐ村(於:十四山スポーツセンター)
11月13日(日) リレーマラソン(於:東海広場)
11月25～27日 あいち花フェスタ(於:弥富市総合社会教育センター)
2017年
1月29日(日) 第3回あいさいフェスティバル(於:文化会館)

V G 11月定例会の予定

集合時間:11月20日(日)9時～ 集合場所:愛西市文化会館
内 容:2016年下半期の事業について

あいさいボランティアガイドの会 10月定例会 議事録

◇定例会(10月16日(日)9～11時 於:愛西市文化会館、20人出席)

1) 市内案内依頼について

10月に実施予定の個別市内案内依頼について、担当者などの決定、確認をしました。

2) 催事協力について

11月に開催される愛西市観光協会などの催事について、担当協力者などを確認しました。

3) 催事参加報告

9～10月に開催された愛西市観光協会が関連した催事や愛西市の祭礼などについて、見学結果や参加協力状況を報告しました。結果は今後の活動に反映させます。

4) その他の連絡事項

①ボランティアガイドの会のユニフォームが出来ました(2頁参照)ので、出席者に配布しました。会員の方で、未だ手元に届いていない人は事務局へ連絡下さい。

②第3回あいさいフェスティバル、あいさいジュニア・シニア検定について、実施日程を連絡しました。



出逢い・ふれ逢い・あいさい写真コンテスト 作品募集中

詳細は、愛西市観光協会 HP: <http://www.aisaikankou.jp> を参照下さい。

応募・問い合わせは、愛西市観光協会まで

愛西市観光協会:愛西市森川町井桁西 27 電話:0567-55-9993